

学校だより

令和4年3月15日発行

第3号



富山県立富山聴覚総合支援学校 富山県富山市下奥井1丁目9番56号

TEL (076)441-9172 FAX (076)441-9188

E-mail toyamachokaku@ed.pref.toyama.jp

URL <http://www.toyamat-sh.tym.ed.jp/>

「節目（ふしめ）」を大切にする

教頭 河浦 一成

一昨年新型コロナウイルス感染拡大から2年余りが経ちました。感染拡大の波を繰り返しながらコロナ禍が続く今年度でしたが、皆様のご理解、ご協力を得ながら、日頃の感染予防対策に加えて参加者の制限や日程の変更等にご協力いただき、体育大会や学習発表会、そして創立90周年記念事業等の学校の大切な節目の行事を概ね実施することができました。このように今年度は、昨年度とは異なり新型コロナウイルスへの対処を整理して、できるだけ節目の教育活動を止めない対応ができました。

「節目」には「物事における区切りとなる大切なところ」の意味があり、類語や言い換えには、「岐路」「人生の分かれ道」「ターニングポイント」「転換点」等があります。節目は、幼児児童生徒にとって、自分の目標や目当てを定めて気持ちを高め、考え、学び、決意を固めてチャレンジする大切な成長の機会になっています。コロナ禍前と同様というわけにはいきませんが、幼児児童生徒が学校、学部、学級での様々な節目の行事ごとに学びや経験を積み上げ、その節目をきっかけにして着実に成長していく姿を見て大変嬉しく感じます。今後も皆様のご協力をいただきながら、幼児児童生徒の成長を支えていきたいと思っております。

さて、新年度から人生の大きな節目である「成年」の年齢が18歳に引き下げられます。この後、今年度の高等部卒業生は、4月1日をもって「成年」を迎え、在校生は高等部3年生の誕生日をもって「成年」を迎えます。学校では、新年度から生徒が在校中に自覚と責任感のある「成年」を迎えられるよう、ご家庭や地域の方々と共に一人一人を育むよう努めていきたいと思っております。皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

令和3年度アクションプランとその評価

学習活動	「なりたい自分を目指して主体的に学び行動できる児童を育てるための支援の在り方」について、小学部ではキャリアスキルチェック表を活用した自己評価の充実や、キャリア教育の視点を取り入れた授業改善を行った。児童の主体的な姿を引き出すための支援方法について協議した。（評価 A）
特別活動	「児童生徒の実態や発達段階に応じた情報モラル教育の推進」として、生徒会執行委員会が中心となってアンケートを実施し中高等部生徒の情報モラル遵守意識の向上を目指した。また幼小学部保護者対象に講話や家庭への情報提供を行い、家庭でのルール作りにつなげた。（評価 A）
その他 （教育 情報）	「主体的な学びにつながるICT機器を活用した授業実践の推進」を目指し、ICT教育推進リーダーを育成し、ICT機器を活用した研修会や授業検討会を行った。教員の活用指導力等に関する調査の平均点が向上し、互見授業をとおしてICT機器を積極的に活用した授業が増加した。（評価 A）

※詳細については、ホームページをご覧ください。

幼稚園

<誕生会>

みんなで誕生日を祝う楽しさや喜びを味わったり、おめでとうの思いを伝えて友達との関わりを深めたりすることをねらい、子どもたちの誕生日には学部のみんなで誕生会を行っています。1月には、今年度最後の誕生会を行いました。

ケーキの模型に歳の数だけろうそくを立て、みんなで歌を歌った後、誕生者がうちわで火を消しました。また、友達からお祝いの言葉や手作りのプレゼントをもらったり、保護者を交えて風船羽根つきをしたりして楽しみました。



<豆まき会>

節分について知り、自分の中の鬼について考えたり、楽しく豆まきをして季節の行事に親しんだりすることをねらい、2月3日に豆まき会を行いました。

子どもたちは、事前に自分のおなかの中にある鬼を考えました。そして好き嫌い鬼やゲームしすぎ鬼等の絵を描き、豆に見立てた玉をぶつけておなかの中から追い出しました。また、職員が扮する鬼がやってくると、怖くて涙が出てしまう子もいましたが、「鬼は外」「福は内」といながら豆をまいてみんなで鬼を退治しました。



小学部

<書き初め会>



1月12日、書き初め会を行いました。

小学部では日本の伝統と文化に触れる行事として毎年実施しています。

今年も12月から練習し、新年を迎えたい緊張感の中、本番に臨みました。書き上げた作品は、自分のコメントを添えて掲示し、互いに鑑賞して感想を伝え合う姿がみられました。



<なわ跳び記録会に向けて>

毎年、体育の授業の中でなわ跳び記録会を行っています。一人一人目標をもっていろいろな技にチャレンジしています。高学年の先輩の華麗な二重跳びやはやぶさ跳びはみんなの憧れです。



憧れの先輩に優しく教えてもらったり iPad で跳び方を確認したりしながら、日々練習に励んでいます。



中学部

<百人一首大会>

日本固有の文化に触れ、理解することを目的に1月14日に百人一首大会を行いました。生徒たちが毎年楽しみにしている活動です。

明智光秀チームと小野大輔チームの対抗戦では、明智光秀チームが優勝しました。

真剣な眼差しで札を見つめ

「はいっ」と自分の得意札を素早く取ったり、思わずお手つきをしたりするなど、ハラハラドキドキ見応えのある大会でした。



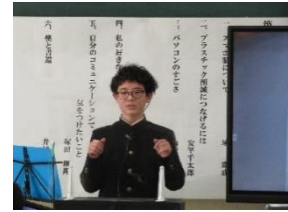
<弁論大会>

1月27日に弁論大会を行いました。体験を通して考えたことや日頃思っていること等をまとめ、発表する力と態度を養うために毎年実施しています。今年は、「自分のコミュニケーションで気を付けたいこと」「プラスチック削減につながるには」などの発表がありました。



どの生徒も手話を交えて堂々と発表することができました。

また、友達の新たな一面に触れる貴重な機会となりました。



高等部

<課題研究発表会>

2月8日に高等部3年と専攻科1年の機械科の生徒4名が一年間取り組んだ専門教科の学習の成果について発表しました。今年度は個人発表「射的の紹介」とグループ発表「観覧車型的あて装置の製作」の二つの発表がありました。どちらの発表もお客さんに楽しんでもらいたいという思いから、構想を形にし、試行錯誤を繰り返して課題を解決していった努力が感じられる発表でした。



<卒業講話>

卒業を迎える3年生が、心構えを新たにしたり、卒業後の生活に生かしたりしていきけるよう、いろいろな先生方から講話をいただいています。



歯科衛生指導では、学校医の菅田先生をお招きし、RDテストをしていただき、自分の歯の磨き方について知ることができました。また、仕事をするものの大切さについてのお話も聞かせていた



だき、生徒たちは健康で充実した生活を送ろうと社会人となる決意を新たにしていました。

委員会活動

生徒会執行委員会では、生徒会行事を企画・運営しました。球技会（中学部・高等部）では、ビーチボールバレーを企画しました。班分けやルール等について話し合い、コロナ感染症に気を付けながら実施しました。

また、ネットルールに関する取組では、アンケートを実施したり、「ポジティブネットマナーメッセージカード」を作成したりしました。SNSのやりとりやネットの使用時間等について呼び掛け、生徒一人一人の意識の向上を目指しました。



給食週間

1月24日～28日に学校給食への関心を高め、理解を深めるために、給食週間を実施しました。

生徒会保健委員会が「体が温まる料理」をテーマに献立を考えたり、集会に幼児児童が参加し、栄養職員や調理員への感謝の気持ちを伝えたりしました。

給食週間は、安全・安心でおいしい



給食をいただく感謝の気持ちを育む貴重な機会となりました。

部活動

富聴チャンプ決定戦

2月4日から新型コロナ感染拡大の影響で開催を延期していた校内チャンピオンを決める「富聴チャンプ決定戦」を部活動の時間を使って行いました。今年度もいろいろな大会が中止になり、思うように活動できなかったストレスを発散すべく、部員たちは元気に大会に臨みました。高等部3年生にとっては最後の大会となり、様々な思いを胸に、試合を楽しむことができました。



検定合格者



日本漢字能力検定

準2級	高等部1年	森元	陸樹
3級	高等部3年	松本	悠雅
	高等部1年	堺	琉莉
		西島	拓郎
	中学部2年	安平千太郎	

第42回全国高等学校保育技術検定
造形表現技術
3級 高等部2年 寺本 遥加

寄贈品

- ・明治安田生命富山支社様 サッカーボール1球
- ・雷鳥ライオンズクラブ様 50,000円にて図書購入
- ・交通安全功労団体表彰 記念品(5,000円)にて「交通安全DVD」購入
- ・教育振興会 紅白幕1式

